

B面の前に“**ブギのあんこ**”を入れて一息！

1. バンブル・ブギー

フェディ・マーチン楽団

2 : 5 1



ブギー・ウギとは左手でベース・リズムを1小節8拍に刻み、そのパターンを繰り返しながら、右手でブルースのバリエーションを行う奏法。1920年代にシカゴの黒人街で盛んに演奏されるようになった。曲はリムスキーコルサコフの「熊蜂の飛行」、以前H.ジェームスが得意のトランペットで吹いたのが評判になっていたところへ、マーチン楽団の専属ピアニスト、ジャック・ファイナがきらびやかなブギのスタイルに編曲し受けた1946年チャート7位の大ヒット。子どもの頃この曲を聴き、これがブギか！強いインパクトを覚えた。

2. 買い物ブギ

笠置シズ子

3 : 1 7

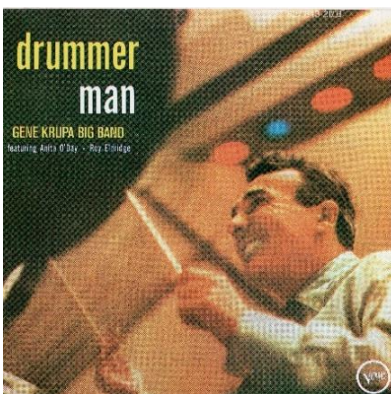


戦後の日本を明るく照らし、復興のエネルギーとなったブギの女王。服部良一とのタッグで昭和23年東京ブギウギが大当たり、ご当地ブギも数多く吹きこみ大ブレイク。昭和27年第2回紅白ではエプロン姿に買物かごで登場、大阪弁がピタリとはまるメロディである。第7回ヘイヘイブギで大トリ！三橋美智也が哀愁列車で初出場。紅白は8回まで、昭和32年テレビ時代、マンボが流行りブギは下火となり潔く43歳で歌手を引退し女優に専念を宣言した。家族揃って歌合戦の審査員、洗剤カネヨンのCMおばさんで大人気。

3. ドラム・ブギー

ジーン・クルーパ楽団

3 : 3 6



戦前戦後を通じて日本に初上陸したスィングドラムの王様G.クルーパ・トリオの来日公演は1950年日劇であった。続くジャズ王、R.アームストロング楽団はじめ本場の楽団のラッシュで夢の合同競演も出来る様になった。1956年の我が国はブギまっ最中、ドラム・ブギーは日本のドラマーにも刺激を与えた。クルーパのDrは勿論よいが、R.エルドリッチのTpも聴きものだ。以前G.川口がこの曲を演奏したライブ映像を見た、そのドラミングは会場を魅了ドラムの躍動感素晴らしい。

4. スモーキン・ブギ

ダウンタウン・ブギウギ・バンド 2 : 5 0



宇崎竜童が率いるバンド。白い繫ぎは仲間がアルバイト先で着ていた作業服から発案。全員で着用し湘南の海の家でライブ披露したとろ、バンド名や音楽性ともお客に大ウケして以降公式のユニフォームとなった。曲は昭和50年のスモーキン・ブギ、その時分「タバコは動くアクセサリ」のCMもあり、ところ構わず皆が吸った時代。翌年には「アンタあの娘の何なのさ」のセリフで大ヒットしたのは「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」。この頃より山口百恵の曲も数多く作曲、夫人で作詞家の阿木燿子と共に彼女の全盛期を支えた。